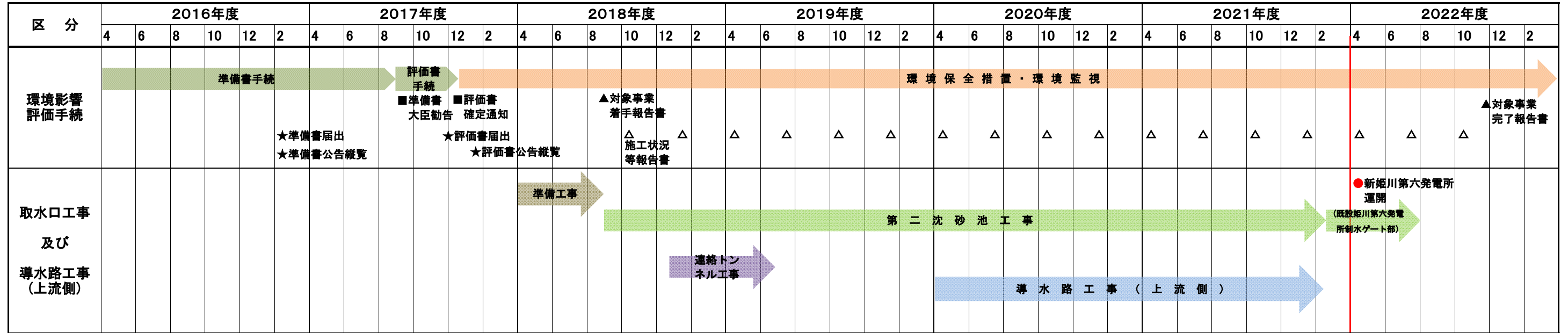


施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表 (第I工区)」

1. 新姫川第六発電所新設工事(第I工区)スケジュール



2. 対象事業の実施状況一覧(第I工区)

年 度	2018年度				2019年度				2020年度			
	回数	第1回報告	第2回報告	第3回報告	第4回報告	第5回報告	第6回報告	第7回報告	第8回報告	第9回報告		
報告対象期間	本体工事着工(8/21)~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月			
実施状況	2018年8月21日より本体工事着工。工事用仮設備の上部作業構台を設置完了。第二沈砂池工事(既設開渠部拡幅工事)を実施。	2018年10月16日より10月30日まで断水工事を実施。沈砂池仮締切、仮水路を設置完了。第二沈砂池工事(既設開渠部拡幅工事)、連絡トンネル工事(準備工事)を実施。	第二沈砂池工事(既設開渠部拡幅工事)、連絡トンネル工事を実施。	連絡トンネル工事6月末完了。第二沈砂池工事(既設開渠部拡幅工事)、導水路坑口上部法面補強工事を実施。	第二沈砂池工事(既設開渠部拡幅工事)、導水路坑口上部法面掘削および補強工事を実施。	第二沈砂池川側躯体完成。仮締切替完了(川側→山側)。使用前社内検査終了。河川法工作物一部使用承認検査終了。	第二沈砂池山側掘削、山留坑口上部法面補強完了。導水路掘削工事準備実施。(高圧受電設備、濁水処理設備、排水設備ほか)	導水路1号トンネル掘削工事準備(高圧受電設備、濁水処理設備、排水設備ほか)、坑口付けの後、2020年5月21日から掘削を開始し掘削実施。	導水路1号トンネル掘削を継続して実施。			
年 度	2020年度				2021年度				2022年度			
回数	第10回報告	第11回報告	第12回報告	第13回報告	第14回報告	第15回報告	第16回報告	第17回報告	第18回報告			
報告対象期間	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月			
実施状況	導水路1号トンネル掘削を継続して実施。	導水路1号トンネル掘削を3月に完了(トンネル貫通)。軌条撤去、掘削機械の整備・搬出を実施。第二沈砂池仮設棧橋一部撤去を実施。	導水路1号トンネルのレーン撤去および中央排水を設置、第二沈砂池の山側掘削および仮設棧橋の一部撤去を完了。導水路1号トンネルの防水シート設置および覆工、第二沈砂池の躯体構築を実施。	導水路1号トンネルの防水シート設置および覆工、第二沈砂池山側の躯体構築を継続して実施。	導水路1号トンネルの防水シート設置および覆工の施工完了。第二沈砂池山側の躯体構築を継続して実施。	第二沈砂池山側躯体構築。仮締切替後、通水・有水試験実施。姫六(既設)沈砂池制水ゲート部掘削・坑口上部法面補強を実施中。						

施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表（第Ⅰ工区）」

期間：2022年1月1日～2022年3月31日

【水環境】

影響要因	影響要素	環境保全措置の内容	環境保全措置の実施状況
造成等の施工による一時的な影響	水の濁り	濁水処理装置による水の濁りの適正処理	第二沈砂池施工で発生した濁水は濁水プラントを経由し、高分子凝集剤とPACにより、濁水ケーキとして分離し、清水を放流している。
		排水水質の管理	濁水処理装置出口における排水の浮遊物質量が、25mg/L以下となるよう濁度計を用いて管理している。
	水素イオン濃度	濁水処理装置による水素イオン濃度の適正処理	第二沈砂池施工で発生した濁水は濁水プラントを経由し、液化炭酸ガスにて中和し、PH調整をした後、放流している。
		排水水質の管理	濁水処理装置出口における排水の水素イオン濃度を、6.5以上8.5以下となるよう管理している。
	地下水水質	濁水処理装置による処理	1号トンネルの施工完了後も、少量のトンネル湧水があったため、濁水プラントにて処理を行っている。
		トンネル排水水質の監視	調査で地下水水質に異常が無いことを確認している。

【大気環境（建設機械の稼働に伴う騒音、振動）】

影響要因	影響要素	環境保全措置の内容	環境保全措置の実施状況
建設機械の稼働	騒音・振動	工事量の平準化	工事計画策定段階において、工事量を平準化し、ピーク時の建設機械稼働台数の低減を図る工程とし、工事を実施中である。
		建設機械の効率的な使用	工事規模に合わせ、建設機械等を適正に配置し、効率的な使用を行っている。
		資機材の工場組立	仮設鋼材等は可能な限り工場組立とし、現地での施工機械使用の低減に努めている。
		低騒音、低振動型建設機械の使用	現在、工事で使用しているバックホウ・発電機等は、低騒音・低振動型である。

影響要因	影響要素	環境保全措置の内容	環境保全措置の実施状況
建設機械の稼働	騒音・振動	夜間工事の抑制	導水路工事や断水工事等を除き、原則として夜間工事を行わないこととしている。
		建設機械の性能維持	建設機械は、常に点検整備された状態を維持している。
		環境保全措置の工事関係者への周知徹底	定例会議等にて、環境保全措置を工事関係者へ周知徹底している。

【動物・生態系】

影響要因	影響要素	環境保全措置の内容	環境保全措置の実施状況
建設機械の稼働、造成等の一時的な影響	生息環境・生育環境の保全	地形改変の最小化 伐採面積の最小化	既設設備を有効活用することにより、地形改変の最小化、伐採面積の最小化を図っている。
		河川維持流量の放流	適正な河川維持流量（1.63m ³ /s）を放流している。
		工事排水の適切な処理	濁水処理装置を経由して処理を行っている。
		低騒音、低振動型建設機械の使用	現在、工事で使用しているバックホウ・発電機等は、低騒音・低振動型である。
		夜間搬出入の制限	導水路工事や断水工事等を除き、原則として夜間工事を行わないこととしている。
		工事着手前に猛禽類（サシバ）の繁殖行動の有無を調査し、営巣木が現況よりも工事区域に近づき、影響が予測される場合にはコンディショニングを実施する	4月、5月の定例調査および6月の追加調査で2021年度調査は終了した。次回調査は2022年4月を予定している。
		資機材、仮設建物の早期撤去	工事に使用する資機材、仮設建物は、必要に応じ適時配置し、工事終了後は速やかに撤去する計画としている。
		工事関係車両の走行速度の注意喚起 工事関係者の立ち入り制限・動物保護の指導徹底 環境保全措置の工事関係者への周知徹底	定例会議等にて、環境保全措置を工事関係者へ周知徹底している。

施工状況等報告書添付資料「現況写真(第I工区)」



全景(川側より)

撮影日: 2022年3月22日



第二沈砂池(山側)
施工状況(上流より)

撮影日: 2022年3月22日



第二沈砂池(山側)
施工状況(上流より)

撮影日:2022年3月22日



第二沈砂池(川側)
施工状況(上流より)

撮影日:2022年3月22日